

令和7年度学校評価計画書

廿日市市立七尾中学校

評価計画					自己評価					学校関係者評価 コメント	改善方策
中期経営目標 (めざす児童生徒像)	短期経営目標 (めざす児童生徒像)	目標達成のための方策	評価項目・指標	目標値	中間 8月	最終 2月	達成	評価	結果と課題の分析		
グローバル社会に求められる、基礎的な知識・技能の習得と主体的に学び課題を解決する力及び思考力・判断力・表現力を育成する。	◎課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組む生徒を育成する。(市共通項目)	○「子どもが主役の授業を推進していこう！事業」の指定を活用し、指導主事やICT指導員の伴奏支援を受けながら授業改善を推進する。 ○授業において、「自己選択」「自己決定」「自己評価」の場面設定を行う。	課題の解決に向けて、自分で考え、自分からよく取り組む生徒の割合、50%以上。(学校評価アンケート)	50% (39.9%※肯定的88% R6 最終)							
	○生徒が自分で考え、判断し、表現できる生徒を育成する。(小中共通)	○教師が学びの伴奏者(ファシリテーター)として機能する。	「理由をつけて考えを説明、表現することができている」と回答した生徒を80%以上。(学校評価アンケート)	80% (77% R6 最終)							
お互いに認め合える集団づくりを進め自己有用感を高めることによって、問題行動の未然防止を図るとともに学び意欲高める。	○生徒の自己有用感が高まり、お互いのよさを認め合うようになる。	○縦割り清掃等の生徒会活動、学校行事、学級活動を通して、生徒による活動の場を設け、生徒による評価活動(振り返り)を行う。	自分のよさは、まわりの人から認められると回答した生徒の割合を80%以上。(学校評価アンケート)	80% (84% R6 最終)							
	◎学校内外の機関等で専門的な相談・指導を受けていない不登校生徒を減少させる。	○教育相談委員会を通して、SSRの運営や不登校生徒の実態について教員・SC・SSWで情報共有を行い、個に応じた指導を行う。	不登校生徒のうちどこともつながっていない生徒を5%以下にする。	5%以下 (3/33人→9% R6 最終)							
教職員の子どもと向き合う時間を確保し、教職員が健康でやりがいをもって勤務できる環境をつくる。	◎働き方改革を推進し、長時間勤務を縮減する。(市共通項目)	○月の時間外在校時間45時間を意識し、学校衛生委員会での適時、校務の見直しと労働環境の点検を行う。	子どもと向き合う時間を作れていると感じる教職員の割合を65%以上。(学校評価アンケート)	65% (55% R6 最終)							
			時間外勤務時間が月平均45時間を超える教職員の割合を50%以下。	50% (59% R6 2月末まで)							

評価規準：目標値に対する達成度 A：100%以上 B：80%以上 C：60%以上 D：60%未満 (※「◎」本年度の重点項目)